

【講師のプロフィール】

岩浅 昌幸（いわさ まさゆき）氏

現職 筑波大学准教授（人間安全保障研究）

経歴 慶應義塾大学法学部卒業後、筑波大学大学院社会科学研究科博士課程、日本学術振興会特別研究員、成蹊大学講師などを経て、現職。ヒューマン セキュリティーの観点から、自然エネルギーの活用政策を含む諸政策の提言を行っている。

柳平 彬（やなぎだいら さかん）氏

1940年1月、東京に生まれる。1962年、慶應義塾大学経済学部卒業。丸紅飯田（現丸紅）入社後、渡米し、ハバフォード大学でリベラルアーツ、ダートマス大学タックビジネススクールにて企業組織論を学ぶ。1970年、企業内研修プランナーとして独立。AIA・心のアドベンチャー、Telling・企業家精神養成やTOS・プロへの道などの研修プログラムを開発。1990年、長野県蓼科に経営者のための健康道場（たてしなエグゼクティブハウス）を設立し、縄文パワーアップや生活習慣病予防プログラム、ジュース断食などの健康増進を図る場を提供。

田村 正勝（たむら まさかつ）氏

経済学博士。専攻は経済政策、社会哲学。早稲田大学社会科学部教授、経済社会学会常務理事（前会長）、社団法人日本経済復興協会理事長、NPO 法人ホリスティック・ライフ岡山及び同広島理事長。

1945年松本市生まれ長野県立松本深志高校卒業、1968年早稲田大学第一政治経済学部卒業、1974年 同大学院経済学研究科博士課程修了、1972年早稲田大学社会科学部助手、1982年早稲田大学教授（1992-94年 社会科学部長）。

『日本経済の新展開—人間復興の経済・余暇論』（1989年、新評論）、『新時代の社会哲学—近代的パラダイムの転換』（1995、2000年、早稲田大学出版）、『世界システム「ゆらぎ」の構造/EU・東アジア・世界経済』（1998年、早稲田大学出版）、『見える自然と見えない自然—環境保護・自然の権利・自然哲学』（2001年、早稲田大学出版）、『現代社会とボランティア』（共著、2001年、ミネルヴァ書房）、『甦るコミュニティ哲学と社会科学の対話』（編著、文真堂、2003年）、『社会科学原論講義』（早稲田大学出版部、2007年）、『ボランティア論—共生の理念と実践』（編著、ミネルヴァ書房、2009年）『社会哲学講義—近代文明の転生に向けて』（ミネルヴァ書房、2012年）など著書多数。